

# 志学報

大阪大谷大学教育後援会会報

第55号

大阪府富田林市錦織北3丁目11-1  
電話 (0721) 24-0381

## ご挨拶

教育後援会会長 高間 正浩



教育後援会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は教育後援会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は、3年ぶりに「令和5年度大阪大谷大学教育後援会総会」を、5月20日に滞りなく開催でき、議案案件(令和4年度決算報告並びに会計監査報告、令和5年度予算案並びに役員選出)についてご承認いただきました。私は昨年に続き会長の大役を務めさせていただくことになりました高間正浩でございます。皆様のご期待に少しでも応えられるように、この1年精一杯つとめさせていただく所存でございますので、役員の皆様、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますように切にお願い申し上げます。

令和5年度は、ようやく新型コロナの終息も見えつつあり、日常が少しずつ帰ってきておりますが、依然として感染は続いております。こうした中でも、大学行事としては、昨年度の卒業式、今年度の入学式が対面で

行われ、保護者の皆様も参列いただきました。また、今年度の志学祭も久しぶりに一般開放が実施される予定であります。

今年度教育後援会では、研修や、役員会、新旧の歓送迎会等、これまでの行事を少しずつ開催に向けて調整や実施を行っております。

今年度はまだ過渡期ですが、やがては、新しい生活様式の中で、教育後援会としてふさわしいかわり方に発展させ次世代の役員の方々にバトンタッチできればと考えております。具体的には、昨年度に続き、「役員・会員は学生さんを見守り、学生生活の応援団としてお子さまの成長を見守る会」として学校や学生の困りごとに対し、父兄の人脈を活用するなど支援を強化し、学校のさらなる発展に寄与することだと思っております。

最後になりましたが、大阪大谷大学及び教育後援会の発展と会員の皆様、ご子息、ご息女のご健勝を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

学校法人大谷学園 理事長 左藤 章



教育後援会の皆様方におかれましては、平素より大阪大谷大学の教育活動に対し、多大なご支援ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年で学園創立114年、大学創立57年、また薬学部開設及び男女共学化から17年を迎えることが出来ました。コロナが5類になり、通常の教育、クラブ活動が行えるようになり、大学祭「志学祭」も開催されます。これもひとえに教育後援会の皆様方や多くの卒業生、教職員のお蔭と、重ねて感謝申し上げます。

私は、これまで国政に携わってまいりましたが、学校法人大谷学園の理事長に就任して1年以上になります。現在、全国的に少子化問題が深刻化し、定員割れをしている大学が50%を超える状況となっております。本学も、少子化だけでなく新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、残念ながらここ3年間、入学者数が減少し定員割れとなっております。しかし、教職員らによるアットホームできめ細やかな教育指導により、全国

平均より高い就職率(特に教員採用者数は近畿圏トップクラス)を維持し、また薬剤師免許取得率も好調です。これは学生、教職員が共に、日々研鑽を積み重ねてきた成果でありましょう。

現在、本学は危機を乗り越えるため、様々な改革を行っている最中です。来年4月からは、新学科「心理・福祉学科」を開設し、また、デジタル化・グローバル化に対応できるカリキュラムに見直し、人間社会学科に新しく「データサイエンスコース」「経営コース」を展開します。

世界へ目を向けると、ロシアによるウクライナ侵略、北朝鮮のミサイル・核開発、中国による領土問題など、安全保障上の不安要素がその存在感を増しつつあります。さまざまなエゴがぶつかりあい、先行きの見えないこのような時代にこそ、自他を共に尊重する「報恩感謝」の人材が必要であると確信しております。

学園創立115周年、120周年という節目を前に、より充実した教育環境を整え、校舎の設備の充実・改善等を進め、社会に貢献できる人材の育成を更に推し進めて魅力ある大学づくりに向け、教職員と共に取り組んでまいります。そのためにも、引き続き皆様方のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

末筆ながら皆様方のご健勝ご多幸を衷心よりお念じて、ご挨拶とさせていただきます。

## ご 挨拶

大阪大谷大学 学長 浅尾 広良



教育後援会の皆様におかれては、平素より大阪大谷大学の教育・研究活動に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍も、新型コロナウイルスが第5類に移行したことに伴い、やっと

出口が見えてきました。感染が収束したわけではないので感染対策は継続しますが、授業や行事等はすべて正常化し、秋に開催する大学祭(志学祭)も、一般のお客さんを入れて通常開催する予定で準備を進めています。ここまで本当に長い道のりでした。

昨年から今年にかけての新たな動きをお伝えします。最初に、本学は羽曳野市と包括連携協定を締結しました。自治体との包括協定締結は、富田林市・河内長野市に次いで三例目です。今後は羽曳野市と協力して、町の活性化等の課題を一緒に考え、進めていきます。二つ目に、本学薬学部が、奈良県の奈良医療センターと学術交流等に関する包括協定を締結しました。これを契機に薬学部をより活性化させたいと考えています。三つ目に、富田林市と協力して、金剛地区の町の活性化などに取り組んでいます。今後はこのような地域や自治体、企業、大学等との連携を深め、本学を発展させてまいりたいと考えています。

教育後援会から支援をいただいている事業は、いくつも実を結んできています。課外活動では、ソフトボール部がI部昇格、サッカー部がIII部昇格、硬式野球部ではリーグ戦II部でベストナインに3名が選ばれました。和装礼法装道部は全日本きもの装いコンテスト世界大会に出場するなど、めざましい活躍がありました。

就職関係では、さまざまなキャリア支援の甲斐あって、この3月の卒業生の就職率は、97.5%となり、ここ数年で一番よい結果となりました。教員採用試験では、専任・講師を含めて154名の採用があり、特に専任での採用が大幅に増えました。

ポストコロナの状況に入ってきて、キャンパスは学生諸君の活気に満ちた活動に溢れ、本来の姿を取り戻してきています。今後の発展にご期待ください。

## ご 挨拶

文学部長 犬木 努



教育後援会の皆様におかれましては、平素より本学・本学部の教育・研究活動に対して、多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今年度より、文学部長を拝命いたしました犬木でございます。何卒よろ

しくお願い申し上げます。

2020年春以降、新型コロナウイルスの感染が地球規模で拡大し、本学の教育・研究活動も甚大な影響を被ることとなりました。教員は不慣れな遠隔授業の準備・作成に忙殺され、学生たちも遠隔授業の視聴に戸惑い疲弊する毎日でしたが、本年5月、ようやく新型コロナウイルスが「感染症5類」に移行し、一応の「収束」に至りました。実に多難な3年半でしたが、「対面授業」がいかに優れた授業形態であったのか再認識する契機となった点は、近い将来、否応なく到来する「DX社会」の陰翳を見極める上でも一定の意義があったと思っています。

ここで、文学部の日本語日本文学科および歴史文化学科の近況についてご紹介します。

日本語日本文学科では、「日本語教師の国家資格化」への対応が鋭意進められています。「日本語教育機関の認定等に関する法律」が2024年4月に施行予定で、認定された教育機関において所定の科目を履修した学生は「筆記試験」の一部が免除されることになります。日本語日本文学科では、日本語教育機関の認定を受けるための準備が順調に進捗しています。

一方、歴史文化学科では、2024年4月から、「歴史学コース」が「日本史学コース」と「文化史学コース」に細分され、「美術史学コース」が「日本美術史学コース」と「西洋美術史学コース」に細分される予定です。基幹コースが「3コース」から「5コース」に再編されることにより、既存の「考古学コース」も含めて、より深い「歴史文化学」の学びが可能になります。

教育後援会の皆様には、文学部の教育・研究活動についてご理解を頂くとともに、より一層のご支援を賜りたく存じます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 学生生活について

学生部長 田沢 晶子



教育後援会の皆様におかれましては、平素より本学の教育・研究活動、そして課外活動を含む学生生活全般に多大なるご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が下火になり、生活行動の制限も解除され、これまで動画配信としていた各種の大学行事を対面で実施しております。報恩感謝の精神を伝える重要な宗教行事「花まつり」は3年ぶりに対面で開催致しました。

ところで、令和4年度より成人年齢が18歳となり、お子さまを取り巻く環境は大きく変化しました。最近の若者が巻き込まれる犯罪、サイバー犯罪、特殊詐欺等に対し、被害者または加害者にならないためにも防衛方法をしっかり学んでおく必要があります。そこで6月に開催しました「学生厚生補導講演会」では、大阪府警察本部、富田林警察署にご協力頂き、「今もあなたを狙っている—さまざまな犯罪に巻き込まれないために—」と題し、被害に巻き込まれないための知識とノウハウをお話し頂きました。

教育後援会の皆さまに御支援を頂いております「志学祭」は、コロナ禍において設けていた制限を全面解除し、

飲食を含む模擬店を復活させ、11月に対面で開催いたします。是非とも足をお運び頂ければと存じます。おいしい食べ物をご用意し、音楽やダンス、音楽の歌詞を手話に変えて踊る手話歌といった様々な公演を企画しております。

これまでコロナ禍を過ごしてこられたお子様にとっては、各種行事や活動、学生生活においてご不安を覚えることがあるかもしれません。そのような時には、学生課を含め各種窓口へお気軽にお問合せください。また本学には授業に関する困りごとのご相談を預かるアクセスルーム、心身の健康相談には保健室、学生相談室がございますので、ご活用いただけましたら幸いです。



学生課では、学生の皆さんにより充実した学生生活を送って頂けるよう鋭意取り組んでまいりたいと存じます。今後とも温かいご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 更なる「就職に強い大学」を目指して

キャリアセンター長 近藤 篤俊



教育後援会の皆様には、平素より就職活動やインターンシップ活動に対して、格別なるご高配を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

ここ数年、学生達はコロナ禍の影響を大きく受ける大学生活であったにも関わらず、2023年3月に卒業した本学の就職率(全学部平均値)が「97.5%」という非常に高い数値となりました。キャリアセンターの2つの軸「キャリア教育」「キャリア支援行事」や、各学部・学科とのキャリア支援の連携など、全学的かつ体系的な取り組みも含め、本学が「就職に強い大学」であることが、この全国上位レベルの就職率でも実証されています。

1つ目の軸「キャリア教育」では、4領域(学生生活系科目・仕事観/職業観系科目・社会人基礎力系科目・就活実践系科目)から構成する正課履修科目を1年次より設置しています。2つ目の軸「キャリア支援行事」では、民間

企業、公務員などを目指すそれぞれのプログラムを1年次から数多く準備しています。この2つの軸を体系的に連動させたシステムを構築して、一人ひとりの学生が、自分の適性や希望に沿った進路を見つけることができる「本意な就職」「辞めない就職」を目指しています。

常に時代の要請に応える教育を行い、その時々々の社会の要請に応え、優れた実践力をもつ卒業生を輩出している本学ですが、希望する就職を実現するためには、皆様のご理解とご協力が不可欠です。

ここ最近の就職状況として、今まで以上に「選考の早期化」「様々な選考方法の実施」がより顕著になっています。本学のWebシステム(Active Academy、tani-WA、求人検索ナビ、キャリアセンターホームページ)や、御自宅への就活資料の送付物などで最新の就活情報を収集し、キャリア教育、キャリア支援行事に積極的に参加することが必須となっています。

本学キャリアセンターの活用に加えて、本学学生が自信を持って社会に巣立てるよう、より多くの学びと挑戦の機会、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2022年度卒 各学科(専攻)就職決定率・取得できる主な資格免許

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p><b>薬学科</b></p> <p>96.2%</p> <p>●薬剤師※<br/>●NR・サプリメントアドバイザー※<br/>●健康食品管理士※</p>                     |  | <p><b>日本語日文学科</b></p> <p>94.4%</p> <p>●中学校教諭1種免許(国語)<br/>●高等学校教諭1種免許(国語・書道)<br/>●学校図書館司書教諭資格 等</p>                |
| <p><b>歴史文化学科</b></p> <p>92.3%</p> <p>●学芸員 ●司書資格<br/>●中学校教諭1種免許(社会)<br/>●高等学校教諭1種免許(地理歴史) 等</p>      | <p><b>こども保育専攻</b></p> <p>100%</p> <p>●幼稚園教諭1種免許 ●保育士資格<br/>●小学校教諭1種免許<br/>●特別支援学校教諭1種免許 等</p>                            | <p><b>初等中等教育専攻</b></p> <p>97.3%</p> <p>●小学校教諭1種免許<br/>●中学校、高等学校教諭1種免許(英語・国語)<br/>●特別支援学校教諭1種免許 等</p>              |
| <p><b>特別支援教育専攻</b></p> <p>100%</p> <p>●特別支援学校教諭1種免許<br/>●小学校教諭1種免許<br/>●中学校・高等学校教諭1種免許(英語・国語) 等</p> | <p><b>スポーツ健康学科</b></p> <p>97.7%</p> <p>●中学校、高等学校教諭1種免許(保健体育)<br/>●CSCS※ ●健康運動指導士※<br/>●健康運動実践指導者※<br/>●初級パラスポーツ指導員 等</p> | <p><b>人間社会学科</b></p> <p>98.5%</p> <p>●中学校教諭1種免許(社会)<br/>●高等学校教諭1種免許(公民)<br/>●2級FP技能士<br/>●社会調査士(資格制度参加申請予定) 等</p> |

※ 受験資格 ◆「こども保育専攻」は幼児教育専攻、「初等中等教育専攻」は学校教育専攻の卒業生実績です。

教員採用者数(国公立大) 近畿圏トップクラス!!

|          |           |       |       |        |       |       |        |
|----------|-----------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 特別支援学校教員 | 近畿/大阪府 1位 | 関西 1位 | 幼稚園教員 | 大阪府 1位 | 関西 2位 | 小学校教員 | 大阪府 5位 |
|----------|-----------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|

〈大学調べ〉 詳しいデータは大学ホームページの「情報の公表」[4.]「卒業(修了)者数、進学者数、就職者数、業種別就職状況」[大学]をご参照ください。

2023年度 教育後援会役員一覧 (敬称略)

|     |        |      |        |      |       |    |       |
|-----|--------|------|--------|------|-------|----|-------|
| 会長  | 高間 正浩  | 常任幹事 | 北村 晶子  | 常任幹事 | 木谷直甫子 | 委員 | 中田 克子 |
| 副会長 | 溝脇 康之  | 常任幹事 | 井中 雅美  | 常任委員 | 川崎 重幸 | 委員 | 前山 仁美 |
| 副会長 | 鳥居 圭子  | 常任幹事 | 新庄美智子  | 常任委員 | 出口 信  | 委員 | 橋本 朋子 |
| 副会長 | 東海 清美  | 常任幹事 | 小野 ゆかり | 常任委員 | 長瀬 暁美 | 委員 | 井上 彰人 |
| 会計  | 北田 貴子  | 常任幹事 | 石原 京子  | 常任委員 | 西村 史  | 委員 | 木谷美代香 |
| 監査  | 北木 登起子 | 常任幹事 | 狩集 淑美  | 常任委員 | 秀坂 小牧 |    |       |
| 監査  | 浜岡 有香  | 常任幹事 | 内田 紅子  | 常任委員 | 平井 雅子 |    |       |